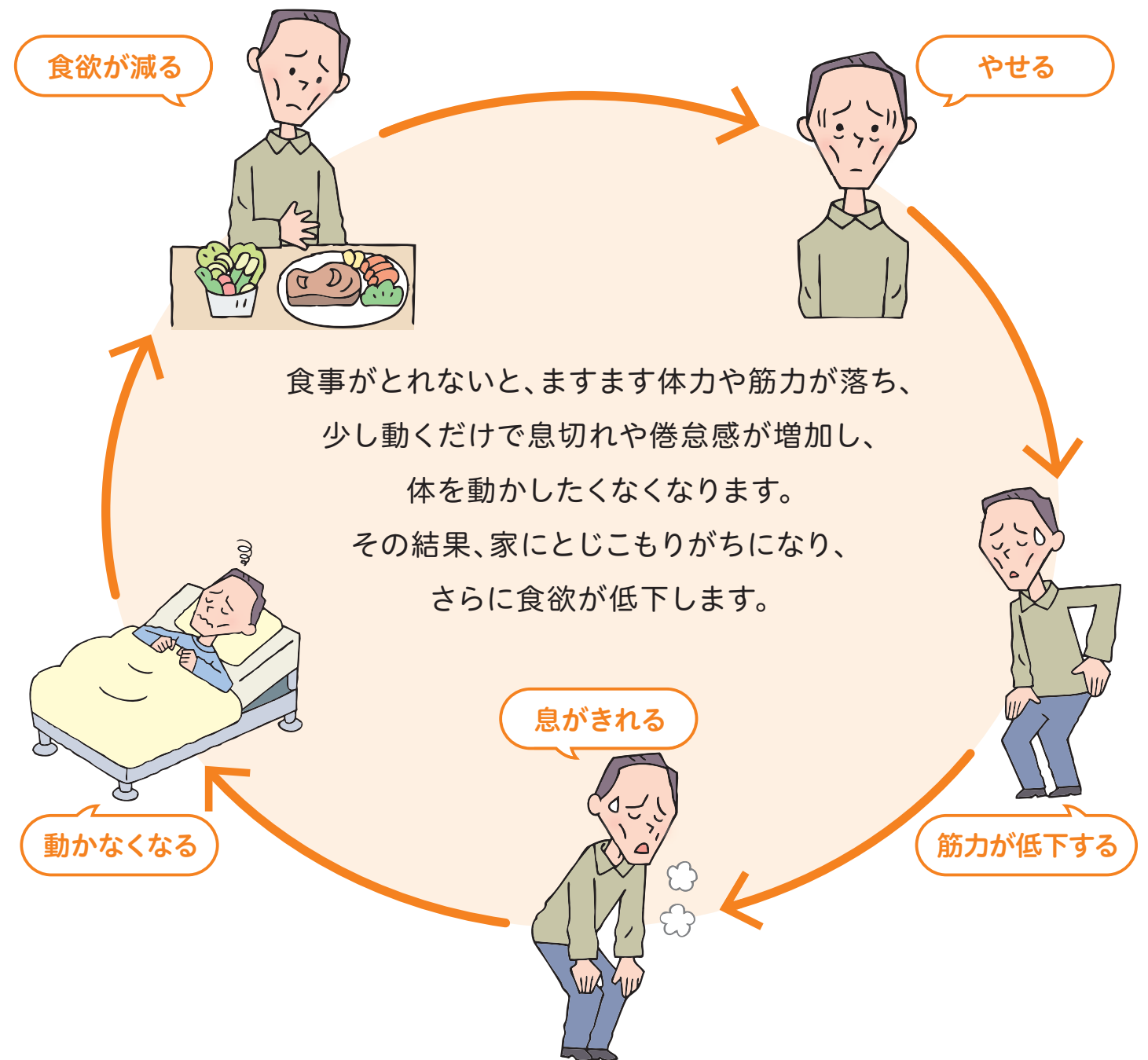
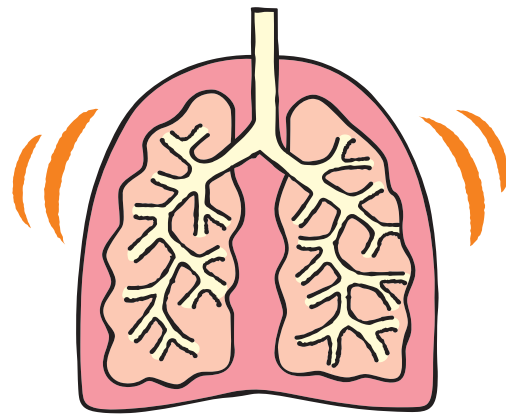
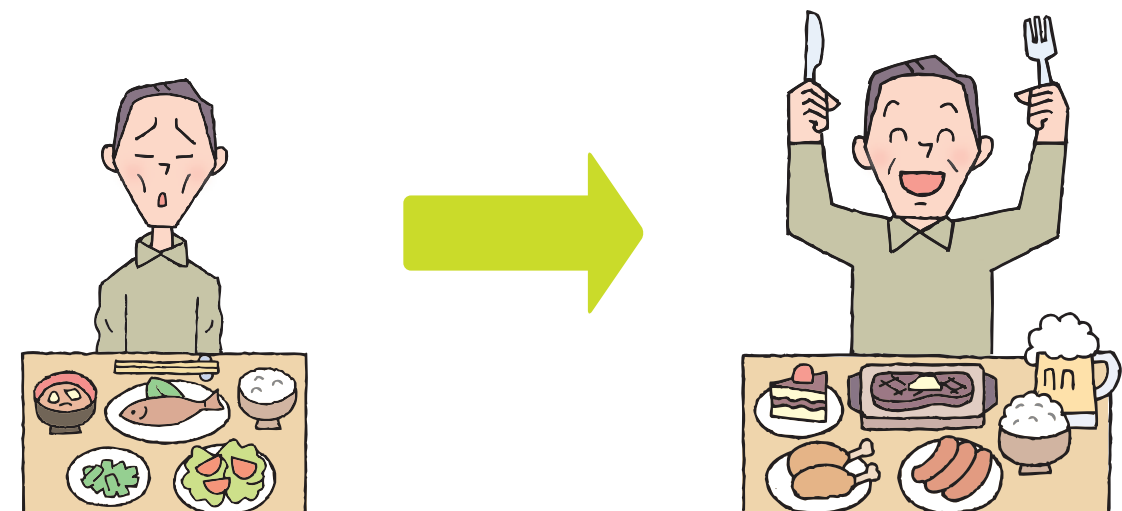


# COPD(慢性閉塞性肺疾患)とは?

COPD(慢性閉塞性肺疾患)とは、  
気道や肺の細胞などが壊れることによって、  
肺の機能が悪くなり、  
スムーズに呼吸ができなくなる病気です。  
呼吸に使う筋肉が落ちているため、  
呼吸時にたくさんのエネルギーを使います。  
そのため、健康な人よりも多くの食事量が必要になります。  
ところが、食事量の低下や、胃腸の働きの低下により上手く食事がとれず、  
やせていく傾向にあります。



COPDでは、このような「食欲が減る→やせる→筋力が低下する→息がきれる→動かなくなる→食欲が減る」という悪循環に陥らないようにし、しっかりと食事をする事が大切です。



## Q なぜ「やせ」てはいけないの?

COPD患者さんは体重が減ると予後が悪い(余命が短くなる)ことが報告されています。そのため、しっかりと食事をとることが大切です。

